

かえるの通信

創刊号

発行者：新橋環境を守る会

電話：814 - 1636

発行日：平成 12 年 4 月 1 日

年々悪化する大気汚染、廃棄物処理問題、そして異常気象、健康被害など、私たちの周囲の環境は深刻な状況となっています。

10年一昔と言いますが、10年前は私たちは大変恵まれた環境にいました。暑い夏は弥生台や緑園都市の駅に降り立つと空気がおいしいと感ぜられました。

しかし、10年前を境に駅を降りて我が家へ向かうにつれて異臭がし始め、家族には原因不明の病気で診療を受ける者が出始めました。

杉並病*と症状が良く似た視力の減退、心臓の動悸、手足のこわばり、不快な耳鳴り等、年を取った為と思いながら生活をしている人々が多数います。でも、これらの症状が数日里帰りなどをすると、うそのように消えます。

いったい私たちの周囲で何が起きているのでしょうか？

- 平成 1 年 12 月に神奈川美研工業が周囲住民に何の説明もせずに、町内会長の承諾のみで産業廃棄物の焼却を始めました。
- 私たちがまったく知らない内に、横浜市は神明台最終処分場の中に杉並区で大問題となっているごみの積み替え圧縮施設を造りました。(杉並区の施設の3倍以上の処理能力でオープン施設)
- 平成 10 年 11 月に神奈川美研は産廃焼却を中止した後、我々にも横浜市にも内緒で廃プラスチックの破碎、減容処理をこっそりすぐ近くで行っていました。
- 旧新橋最終処分場や旧隼人最終処分場で農地がいつのまにか目的変換され、残土処理業者が入り込み、違法の野焼きを行っています。

他にも怪しい施設や小型焼却炉で塩化ビニールの焼却などが行われています。

我々が健康に安全に生活する権利を嘲笑うかの様に、野焼きや小型焼却炉の使用は止まる事はありません。皆さんの近くで、または見聞きした上記の様な事をお知らせください。

皆さんと一緒に美しい緑ときれいな空気あふれる、安全で健康に生活のできる新橋町を取り戻していきましょう。

杉並病とは？

杉並区下井草に一般ごみの積み替え中継所ができました。中継所では小型ごみ収集車が集めてきた不燃ゴミをホッパーへ入れ、容積で約 20%に圧縮し、大型車へ積み替えています。この施設が稼動してから、周囲住民に原因不明の頭痛、めまい、耳鳴り、手足のこわばり、紫斑、呼吸器系の病気などが発生し、当初被害者はそれほど多数ではありませんでしたが、年を追う毎に増え続けています。

環境関係豆知識

その1

ダイオキシンなど環境汚染物質の量を示す指標として様々な単位が用いられて新聞等に記載されています。いずれもきわめて少ない量を示していますが、簡単に整理しておきます。

1. 重量を表す単位

mg (ミリグラム)	= 1/1,000g (千分の1グラム)
ug (マイクログラム)	= 1/1,000,000g (100万分の1グラム)
ng (ナノグラム)	= 1/1,000,000,000g (10億分の1グラム)
pg (ピコグラム)	= 1/1,000,000,000,000g (1兆分の1グラム)

但し汚染物質の量を示す場合は、“何に対して”と言う分母が必要です。普通大気中の汚染物質を表す場合は、空気1m³に対する汚染物質の量(例えばng/m³)として、水や土壌中の汚染物質を表す場合は水や土壌1g当たりの汚染物質の量(例えばpg/g)と言うように濃度として示されます。

2. 濃度を示す単位

上とは別に直接濃度を示す単位も使用されます。

ppm (ピーピーエム)	0.0001% (1万分の1%)
ppb (ピーピービー)	0.0000001% (1,000万分の1%)
ppt (ピーピーティー)	0.0000000001% (100億分の1%)

多くの汚染物質の場合、荒っぽく1ng/m³は1ppbに相当すると考えることができます。

なお人は大雑把に一日当たり1kgの食物を食べ、20kg(15m³)の空気を呼吸しているとされます。大気や食糧中の汚染物質量が判れば人体に摂取される量が計算できますが、その単位は体重1kg当たり1日に摂取される量(例えばpg/kg/d)として表示されます。ダイオキシンの許容量(規制値ではなくて目安量)は厚生省基準では10pg/kg/d、環境庁基準では5pg/kg/dとされていましたが、昨年当面の許容1日摂取量(TDI)を4pg/kg/dとすることにまとめられました。

毎号、普段目にはするが良く理解できない言葉をできるだけ簡単に説明していく予定です。

用語の説明

廃棄物圧縮施設（コンパクト）

この施設が一躍有名になったのは東京都杉並区井草地区に設置された廃プラスチック類の圧縮施設から出る排気ガスが原因と推察される近隣住民の健康被害からです。

神奈川美研工業が焼却を中止した平成 10 年 12 月以降も新橋町や阿久和南の住民に病院へ行っても原因が解らない健康被害が続く為に、大気汚染の発生原因を調べていましたが、神明台最終処分場の中に、圧縮施設（コンパクト）がある事が判明しました。処理能力は杉並区の 3.3 倍以上の 1 日 5 0 0 トです。横浜市の調査でも緑園都市の住民調査でもこの施設のすぐ近くで、他の測定地点よりも高濃度のダイオキシンが検出された事実と因果関係はないのでしょうか？

廃棄物中間処理施設

収集してきた廃棄物の分別、保管、積み替え、焼却などの作業を行う施設で、最終処分場へ持ち込む前の処理をする施設です。地図上に記載されている中間処理施設は主に廃棄物の分別、保管、積み替えを行う施設ですが、施設の設置に際して横浜市の設置に関する指導要綱には、近隣住民への説明会、および地元の承諾書として町内会長または自治会長の記名捺印を要求しています。また近隣に病院や学校、老人擁護施設が無い事が条件となっています。

廃棄物処理類似施設

金属回収や残土処理、廃車処理施設で、処理する物が有料で取り引きされる物です。産業界から廃棄物として出された物でも、フィリピンへ不法に輸出された産業廃棄物のように途中で有価物になってしまう事があります。これらの施設は廃棄物を扱うのではない為に、廃棄物関係の法律の対象にはなりません。

新橋・隼人などの旧最終処分場

新橋の旧最終処分場は戦後横浜市で最大規模の最終処分場でした。神明台最終処分場とは異なり焼却灰を埋めたのではなく家庭や事業所から集めた一般廃棄物を埋め、廃掃法改正直前の処分場である為に、遮水シートや浸出液の浄化装置などは一切ありません。現在でもガス抜きが官が立っています。問題点は次号で説明します。